

## ◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：認定 NPO 法人 水のフォーラム

23A-13

代表者：代表理事 藤原 梯子

URL : [http:// w-forum.jp](http://w-forum.jp)

---

### 1. 活動が必要とされた状況

次代に向けて「総合的水行政」について提言された平成8年(1996)の国の河川審議会答申に関わり、市民の立場で啓発普及しようと NPO を立ち上げた。

しかし 20 年を経てなお、答申のメッセージが普及していない。活動 20 年を機にその中間報告をまとめ、発信することで、広く考える材料にしてもらえるのではと考えた。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

<実施時期> 2020 年度前半～既刊誌の復習。後半に原稿作成等まとめ。

<参加人数> 筆者、校正人員として数名。

<活動内容> タイトル：「水は流域を往く」—活動 20 年、学びと気づきの中間報告  
Ⅰ.平成8年の河川審議会答申の概要と NPO 立上げの理由  
Ⅱ.荒川流域の水を横断的に学んでの気づき  
Ⅲ.見沼田んぼ見山地区での実践活動を通じての学びと気づき  
Ⅳ.学びからの仮説「江戸の町づくりが遺した埼玉の水ネットワーク」  
Ⅴ.20 年の学び、気づきから「総合的水行政」に向けての提言



『水のFORUM』Vol.20 表紙と大扉

### 3. 活動の成果

機関誌『水の FORUM』は会員及び一般、関係機関に配布するほか、国会図書館や都立中央図書館に所蔵され、そこを通じての問い合わせが多い。

今号は 20 年の総括。当活動のアピールにも、また総合的水行政について考える人が増えてくれることも期待している。

### 4. 今後に残された課題

水は流域を流れている。今後はそれをどのような形で発信すべきか検討中。

一案として、「私のまちに流れる水」作文コンクールを考えている。全国的な河川協会主催「水の作文コンクール」は 40 数回を数えるが、蛇口の水、河川の水、ダムの水等、流れる水の一部に止まるため、今や国語力を競うコンクールになっている。

生活の水はどこから来てどこへ行くのか、田の水はどこから来てどこへ行くのか、洪水はどこから来たのか、調べることに意味がある作文コンクールの実現に向けていくことが、次の課題。